

社会福祉法人
黒松内町社会福祉協議会
TEL : (0136) 72-3124
FAX : (0136) 72-3838
mail : kuro-shakyo@
festa.ocn.ne.jp
HP : https://kuro-shakyo.
sakura.ne.jp/



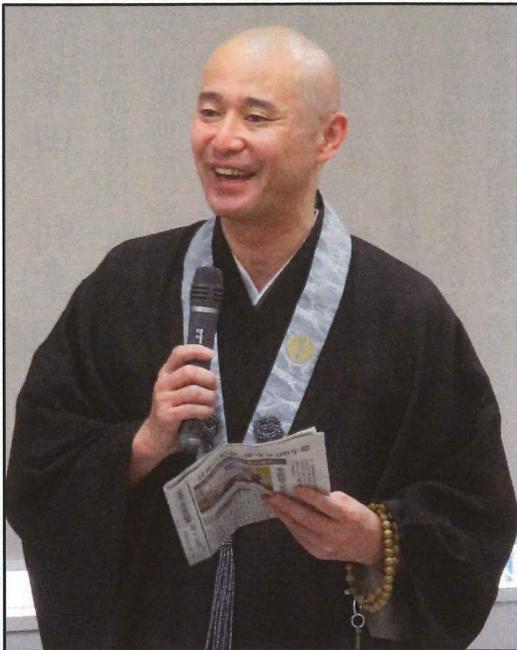
ホームページ
QRコード

社協だより

— 広げよう支えあい！つなごう地域の力！ —



第44回 黒松内町社会福祉大会 (地域福祉講演会)



10月26日、黒松内町保健福祉センターにおいて、第44回黒松内町社会福祉大会を開催しました。福祉大会は例年、総合市民センターで開催していましたが、今年度は町民センターが改修工事のため、保健福祉センターで規模を縮小し、地域福祉講演会として開催しました。

講演会の講師には、浄土宗 岩内山 帰厚院の住職・成田 賢一氏をお招きして、「お寺の広間を実家の居間に！」という演題で、お寺を活用して地域住民の方々と繋がりをつくる様々な取組について、ご講演していただきました。

参加者ならびに関係者皆様のおかげで、福祉大会を盛況のうちに無事閉会出来ましたことに、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。



令和8年 新年のご挨拶



黒松内町社会福祉協議会

会長 津田 利幸



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

日頃より、地域福祉を推進する団体であります社会福祉協議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和七年を振り返りますと四月、五十五年ぶりに日本で開催される国際博覧会「大阪・関西万博」が開幕し、世界中から多くの来場者で賑わい、十月惜しまれながら閉幕しました。

古古米が象徴する令和の米騒動は、店頭から米が消えたり、価格が高騰しました。加えて、あらゆる物が値上がりしたことにより、私たちの生活や暮らしを一層厳しいものになりました。

一方、全国で夏の猛暑や災害、又、各地から熊の出没や人や農作物への被害が数多く報告され、野生動物との共存という新たな課題に直面しました。他方、十月に日本初の女性首相が誕生しました。十一月には大阪大学坂口志文教授と京都大学北川進特別教授がノーベル賞を受賞、日本人のダブル受賞は十年ぶり、誠に喜ばしいことであります。

二〇二五年は戦後八〇年、昭和一〇〇年という節目の年でもありました。過去を振り返りながら、未来を見据えるそんな特別な年だったのでなかったでしょうか。

人口減少、少子高齢化が進行する中、社協は住民一人ひとりがともに支え合って、生活における楽しみや生きがいを見出し、生活上のさまざまな困難を抱えた場合でも、社会から孤立せず、安心してその人らしい生活を送ることができると地域社会実現に向け、皆様とともに取り組んで参ります。地域での見守りや安否確認をはじめ、あらゆる社会資源を活用し、生活支援体制の充実、社協の多様性と柔軟性をいかし行政・関係機関と連携し、町民の皆様が安全で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを進めて参りますので、特段のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金、日赤、社協会費など、皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。新年のご挨拶と致します。

令和八年 元旦

ふれあいのまちづくり事業・しめ縄づくり体験交流会



12月6日に、しりべし学園の「ふらっと」で、ふれあいのまちづくり事業・しめ縄づくり体験交流会を行いました。

しりべし学園成人寮・遊部施設長の挨拶の後、職員の方からしめ縄づくりの説明を受け、作業が開始されました。

今回のしめ縄づくりには、黒松内つくし園の岡久理事長も参加され、他の参加者の方や利用者の方と一緒に、しめ縄づくりに奮闘されていました。

参加者の皆さんは、飾り付けに頭を悩ませながら、思い思いのしめ縄を作られたようです。

黒松内町老人クラブ連合会の活動について



10月23日に第46回後志地区老人クラブ大会が岩内町で開催され、18名が参加しました。
午前はテレビでもおなじみの菅井貴子気象予報士による「災害への備えと心構え」の講演で気象災害にまつわるミニ知識などを学びました。
午後からの芸能発表では、本町からは2名の会員さんにカラオケで出演していただきました。



10月29〜30日に後志管内老人クラブリーダー研修会が定山溪で開催されました。
後志雑学クイズでは、本町参加者が好成績で上位に入賞し、講演会では理学療法士による講話の後、みんなで実際に体操を行いました。
交流会では、近隣町村の会員の方たちと楽しく交流を図り、大変盛り上がりました。



11月7日に黒松内町老人クラブ交流バス旅行を開催し、倶知安町とニセコ町に行きました。
雪の降るあいにくのお天気でしたが、皆さん友愛の精神で助け合いながら、会食や買い物、温泉を楽しみ、帰りのバスで行った「じゃんけん大会」も大変盛り上がりました。
このバス旅行を機会にお知り合いになった方や久しぶりに会えた仲間と楽しく交流を図ることができました。

黒松内町身体障害者福祉協会の活動について



11月14日、蘭越町の幽泉閣で開催された「令和7年度身体障害者南後志ブロック研修会」に参加しました。
今回の研修会では、あそびっく人形劇団の「人形劇・かさこじぞう」、よいてい地域消費生活相談窓口の池田相談員による「最近の消費者トラブル」という、見て学ぶ・聞いて学ぶといった研修が行われました。
研修後の懇親会では、カラオケやお楽しみ抽選会など他町村の会員の皆さんと楽しい時間を過ごしました。

ふれあいのまちづくり事業・木の葉交流会

11月17日にふれあいのまちづくり事業・木の葉交流会を開催しました。
毎年開催しているこの事業は、地域の方と緑ヶ丘老人ホームの利用者との交流事業で、お互いに持ち寄った木の葉で作品を作り贈り合います。
参加された皆さんは久しぶりに会えたお友達とおしゃべりを楽しみながら、きれいに色づいた木の葉で素敵な作品を作っていました。



杖先用アイスピックについて



【ピン型】
積雪路面に強い



【王冠型】
つるつる路面に強い

冬本番を迎え、積雪・凍結路面で転倒防止のために、杖先用アイスピックを使ってみませんか。
社協窓口で、ピン型・王冠型を各¥1,870円(税込)で販売しておりますので、購入を希望される方は、職員へお声がけ下さい。

(福) 黒松内つくし園より 奨学資金支給のお知らせ

社会福祉法人黒松内つくし園では、母子・父子世帯、施設入所などの経済的な理由により、能力があるにも関わらず就学が困難な方に対し、無償で学費の一部として「奨学資金」を支給しています。

【支給対象者】

経済的に就学困難な母子・父子世帯、施設入所者で、次の各号に該当する支給希望者。

- ① 学業優良、品行方正かつ身体健全である者
- ② 生計を一にする者の事情により、奨学資金を受けることを希望する者
- ③ 原則として黒松内町に世帯の住所がある者
- ④ 高校、高等養護学校などに就学する者

【奨学資金申込の手続き】

次の書類を令和8年3月31日までに「社会福祉法人黒松内つくし園」へ提出してください。

- ① 奨学資金支給願書・誓約書(つくし園規定の様式)
- ② 学業成績証明書(通知書等のコピーで可)
- ③ その他必要書類(つくし園が提出を求めた場合)

【支給金額】(在学期間1年間の支給上限額)

・高等学校又は高等養護学校 **50,000円**

※現在受給されている方も、継続して支給を希望される場合には、再度申し込みが必要です。

【お問い合わせ】黒松内つくし園法人本部事務局 Tel.77-2833(担当:岡田 一之)
奨学資金原資への寄附金も募集しております。皆様のご協力お願い致します。

送迎サービスについて

本会では、送迎に関するサービスとして、移送サービスとボランティア送迎を実施しており、それぞれの特徴についてご案内致します。

	移送サービス	ボランティア送迎
利用対象者	<u>要介護・障害等で、自分で公共交通機関を利用しての移動が困難な方</u> (道路運送法施行規則 第49条) また、自動車を運転している方や周囲に送迎をしてもらえる親族や知人がいる方は、対象としておりません。	介助等を必要とせず、通院や買い物などで外出を希望する方
利用料金	町外1時間 1,000円 (待ち時間も利用料がかかります) 町内1回 500円	ガソリン代として、 移動距離1kmあたり25円 (倶知安、伊達など往復で3,000円程度)
送迎の内容	自宅から <u>病院への移動のみ</u> で、買い物等には利用出来ません。	通院、買物、その他
移動範囲	町内を始め、札幌、室蘭、函館などへ送迎可能。	黒松内町から <u>車での移動時間が約1時間で収まる範囲</u> (倶知安町、伊達市、八雲町など)
その他	利用者の方への簡単な介助や付添い、受付・会計などを手伝うことは可能。	利用者の方へのお手伝いは出来ません。 あくまでも <u>送迎のみ</u> のサービスです。
使用車両	専用車両(福祉車両・車いす乗車可)	ボランティアが所有する自家用車
利用に関して	どちらも事前に登録、予約が必要。	
利用時間	どちらも8:00~17:00 (土曜・日曜・祝日・お正月休みは利用できません)	
注意事項	通院に関して、移送サービスとボランティア送迎の併用は出来ません。	

黒松内町子ども会育成連合会 クリスマスリースづくり



12月13日に黒松内町子ども会育成連合会の事業として「クリスマスリースづくり」を開催しました。

リースは講師の佐藤さんが山ブドウのつるを使って準備して下さり、飾りつけにはハーブの会の方たちが手作りしたドライフラワーを使わせていただきました。

講師よりクリスマスリースを飾る由来などを教えてもらい、願いを込めて皆さん個性的なリースを作り上げていました。

共同募金へのご協力ありがとうございました

10月1日より展開しておりました「赤い羽根共同募金運動」と12月1日より展開しておりました「歳末たすけあい運動」は12月31日で終了しました。

昨年は市民の皆様、町内会、商店、企業や各団体様より温かい善意を賜りましたことに改めてお礼申し上げます。

集められた募金は、黒松内町を始めとする北海道の地域福祉に役立つよう活用させていただきますので、今年も引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



いきいきサロンを開催しました

10月22日「いきいきサロン」を開催しました。このサロンは、生活支援体制整備事業の協議体で何度も話し合いを重ねた中で、「誰でも気軽に集まり、楽しめる居場所」を作ろうというところで開催しました。

気軽に集まれる場所ということで、真言寺をお借りし、お菓子の寄付を頂いたり、昼食に提供したおにぎりは、このサロンの開催に賛同して下さった協力者の方々に作ってもらうなど、手作り感満載の誰でも気軽に立ち寄れるサロンにすることが出来ました。

当日は、幅広い年代の方々が足を運んで下さり、歌声を披露してくれたり、おしゃべりをしたり、百人一首やトランプ、麻雀などのゲームをしたりと自由な時間を楽しまれ、お待ちかねの昼食もみんなと一緒に食べて、おなかも心もいっぱいになりました。

今後も気軽に集まれる居場所づくりを計画しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。



あたたかいご寄附
ありがとうございます

皆様のご寄附は地域福祉推進のため、有効に活用させていただきます。

- ・ 金石 潤導様
- ・ 南 節子様
- ・ 檜原友紀子様
- ・ 高林 章子様
- ・ 川口江梨子様
- ・ 菅原 孝一様
- ・ 森 瞳様
- ・ 西井 忠史様
- ・ 橋元 昭治様
- ・ 小林 憲子様
- ・ 青沼 正男様
- ・ 齊木阿津子様
- ・ 伊藤 正明様
- ・ 福本 明美様
- ・ 増山 明様
- ・ 三坂 司様
- ・ 津田 利幸様

【令和7年9月～11月】

(順不同)